

35年ぶりに日本からのゴキブリ新種の発見

法政大学島野智之教授、竜洋昆虫自然観察公園柳澤静磨職員、鹿児島大学坂巻祥孝准教授からなる研究チームの研究で南西諸島から新たに2種のルリゴキブリ属のゴキブリを発見した。ルリゴキブリ属のゴキブリは日本ではこれまでに石垣島、西表島に生息するルリゴキブリ *Eucorydia yasumatsui* 1種のみが知られていました。

ゴキブリは害虫として知られています。現在、日本産ゴキブリは57種が知られており、今回2種を新種として記載したため、合計59種となりました。このうち、人家の中に出現するのは、1割程度であり、それ以外のゴキブリは、森の朽ち木や洞窟などに生息して、朽ち木などの有機物を食べて生活しており、人間とはほとんど関わりのない生活をしています。

さて、「黒い」「汚い」イメージのゴキブリですが、日本(南西諸島)から東南アジアにかけて分布するルリゴキブリ属のゴキブリは、非常に美しい青色の金属光沢や、鮮やかな橙色の紋などを持ついわゆる美麗種です。人家に出入りすることはありません。通常、森林内の朽ち木内などで、腐植質などを餌に生活しています。

今回記載されたうちの1種、アカボシルリゴキブリ *Eucorydia tokaraensis* (ユーコリディア・トカラエンシス) は宇治群島家島、吐噶喇列島悪石島、奄美群島奄美大島、徳之島に分布しており、オスの全長が12.0~13.0 mm、上翅に黄赤色の3つの紋を持つことが特徴です。もう1種のウスオビルリゴキブリ *Eucorydia donanensis* (ユーコリディア・ドナンエンシス) は八重山列島与那国島にのみ生息し、オスの全長が12.5~14.5 mm、腹部は紫色で、上翅に不明瞭な黄赤色の帯状紋を持つことが特徴です。



アカボシルリゴキブリ オス (左) ; ウソビルリゴキブリ オス (右)

論文情報

タイトル Two New Species of the Genus *Eucorydia* (Blattodea: Corydiidae) from the Nansei Islands in Southwest Japan

雑誌 ZOOLOGICAL SCIENCE

URL <https://doi.org/10.2108/zs200048>

日本語リリース

<https://www.hosei.ac.jp/press/info/article-20201124125102/>